

# **個別事業説明書【PR版】**

**農 林 水 産 部**

# 1 林業・木材産業効率化支援事業費

エネルギー価格や物価高騰の影響を受けている県内林業事業体・製材業者等に対し、経営の安定化や事業継続を図るため、生産性や燃費性能の向上につながる取組みを支援する。

お問い合わせ先  
 農林水産部森林局  
 林業政策課  
 (089-912-2585)

## 事業イメージ

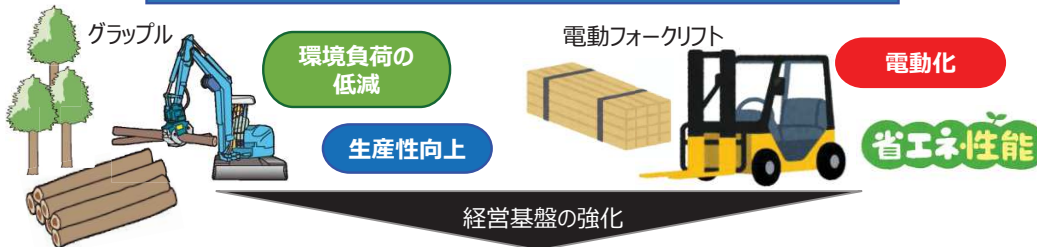
KPI	支援を受けた林業事業体等の素材生産量増加率 <small>(県計画に基づく素材生産量増加率(+8.2%)を上回る水準を目指す)</small>	現状値	-
		目標値	10% (R5年度)

### 現状 物価・資材高騰の影響

林業事業体 ⇒ 燃料費コスト高騰・木材価格下落による経営難  
 製材業者 ⇒ 電気代、燃料費の高騰による製造コスト増

そこで

生産性の向上等に取り組む事業者を緊急的に支援



木材需要に対応した県産材の安定供給力の強化  
 県内林業・木材産業の安定的・持続的な事業の継続

効果

**林業・木材産業の成長産業化**  
 環境負荷低減・省エネへの貢献  
 カーボンニュートラル社会の実現

## 事業概要

【新型コロナ対応地方創生臨時交付金充当事業】

### 林業・木材産業効率化支援事業

30,000千円

#### 1 事業内容

生産性や燃費性能の向上に資する機械・設備等の導入や改修に係る支援

- (1) 高効率型機械・設備等の導入・更新  
 (フォークリフト、グラップル 等)
- (2) 生産機械・設備の高効率化修繕・改修  
 (高性能林業機械、製材用機械 等)

#### 2 補助対象者

林業事業体、製材業者 等

#### 3 採択要件

- ・燃費性能や作業効率の向上が図られる機器であること
- ・生産量もしくは生産性が現状値以上となる目標を設定すること
- ・生産量や販路の拡大に新たに取り組むこと

#### 4 補助率

1 / 2 以内 (上限250万円)

《スキーム》





## 2 養魚用飼料価格低減対策省エネ機器導入支援事業費

令和5年度6月補正予算(案)  
予算額 15,000千円

漁業者の養魚用飼料コスト削減を図るため、飼料価格の低減に結びつく共同利用施設の機器更新に係る費用を補助する。

お問い合わせ先  
農林水産部水産局  
水産課  
(089-912-2615)

### 事業イメージ

**KPI** 養魚用生餌の販売単価の削減率  
(生餌保管の電気料を30%削減した場合の販売単価削減率)  
現状値 -  
目標値 1.3% (R5年度)

#### 現状

生餌を保管する冷凍・冷蔵機器の老朽化により、電気使用量が増大した結果、保管コストが上昇 → 飼料価格の高騰



### 省エネタイプの冷凍・冷蔵機器の導入を支援



機器性能UP

電気代DOWN

使用電力  
30%以上削減  
(カタログ値)



生餌の保管コスト削減



飼料価格低減・漁業者の負担低減

### 事業概要

【新型コロナ対応地方創生臨時交付金充当事業】

#### 1 省エネ水産鮮度保持機器(冷凍・冷蔵)導入支援 15,000千円

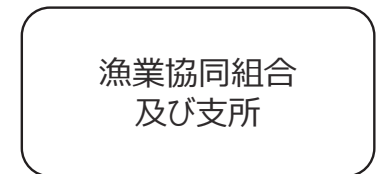
漁協が保有する冷凍・冷蔵機器に対し、省エネタイプの導入(更新)を支援することにより、生餌の保管コストを削減し、飼料価格の低減を図る。

- ・対象：県内漁業協同組合及び支所のうち、保管コスト削減により飼料価格低減に取り組む者
- ・補助対象：冷凍・冷蔵機器の更新に係る経費
- ・補助率：2分の1以内
- ・事業箇所数：10か所

《スキーム》



申請、報告





# 3 農業水利施設電気料金支援事業費

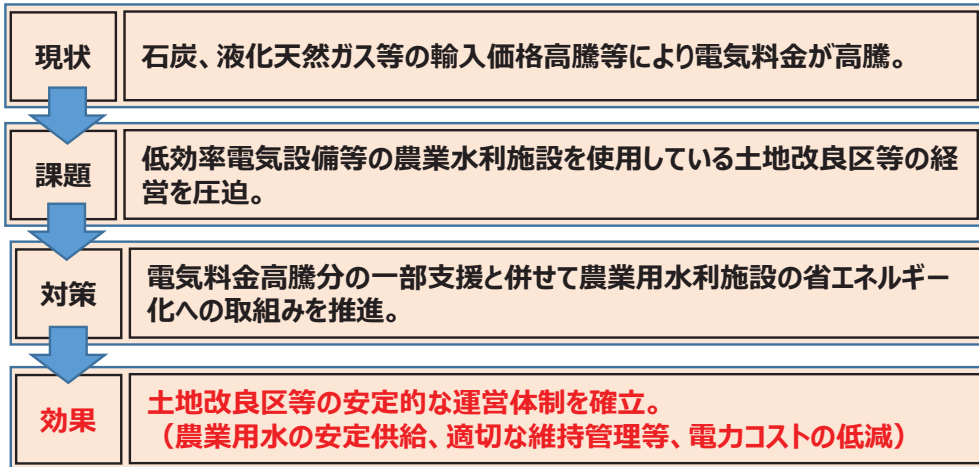
令和5年度6月補正予算(案)  
予算額 21,000千円

電気料金高騰の影響を受ける農業水利施設を所有・管理する土地改良区等の負担軽減のため、高騰分の一部を支援するとともに、省エネルギー化の取組みを推進し、安定的な運営体制の確立を図る。

お問い合わせ先  
農林水産部農業振興局  
農地整備課  
(089-912-2535)

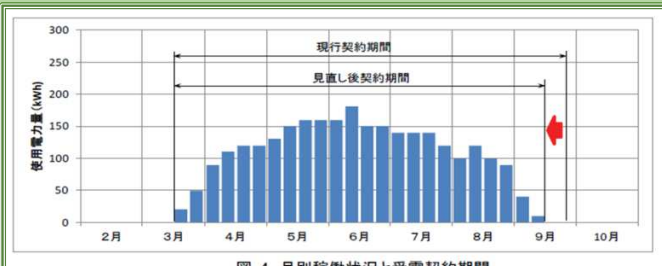
### 事業イメージ

**KPI** 支援を受けて省エネ化に取り組む土地改良区の運営継続率  
現状値 -  
目標値 100% (R5年度)



### ◇コスト削減例(ソフト対策)【電力契約使用期間の短縮】

作物の生育等により、契約期間よりも早く送水を停止することが可能な場合は、前倒して契約期間を終了し、基本料金を低減。



### 省エネ化・コスト削減の取組メニュー例

- ◇省エネルギー化(ソフト対策)
  - ・ポンプの吐出し水位の見直し
  - ・休止可能機器の通電停止
  - ・節水による送水量の削減
- ◇コスト削減(ソフト対策)
  - ・ポンプの同時運転台数の削減
  - ・電力契約の適正化
  - ・電力契約使用期間の短縮
- ◇省エネルギー化(ハード対策)
  - ・高効率電動機への更新
  - ・高効率ポンプへの更新
- ◇コスト削減(ハード対策)
  - ・再生可能エネルギー施設の導入

### 事業概要

農業水利施設電気料金支援事業費 21,000千円

#### 1 事業内容

電気料金高騰の影響を受けにくい農業水利システムへの転換を促すため、省エネルギー化に取り組む施設管理者に対し、電気料金高騰分の7割を支援する。

《対象期間：令和4年4月～令和5年9月》

#### 2 対象施設

- ① 水利施設管理強化事業の対象施設(国営造成等)
- ② ①を除く、維持管理に占める電気料金及び諸油脂費の割合が25%以上の施設

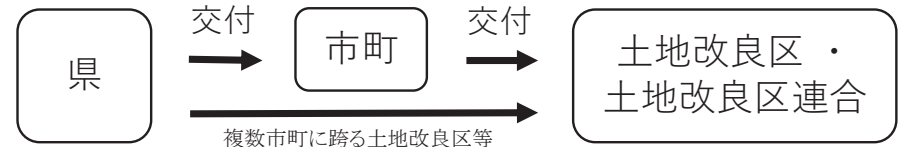
#### 3 補助対象

農業水利施設を所有、管理する土地改良区・土地改良区連合

#### 4 採択要件

- ・省エネルギー化推進計画の策定
- ・省エネルギー化・コスト削減の取組メニューの中から原則2つ以上を実施

### 《スキーム》



## 4 森林・路網整備等の推進事業

森林が持つ多面的機能を発揮させるため、森林の適正な管理に寄与する森林施業等に対し支援を行うとともに、森林経営の効率化及び森林資源の有効利用を図るため、開設改良等を実施し林道を整備する。

お問い合わせ先  
 農林水産部森林局  
 林業政策課 (089-912-2585)  
 森林整備課 (089-912-2595)

事業イメージ **KPI** 右表のとおり

### 【造林事業費】



森林の多面的機能の高度発揮を図るための森林整備を行う

### 【林道整備事業費】



森林の適切な整備を行うための路網整備を行う

### 事業概要

	予算事項名	予算額(千円)	事業の内容	KPI	現状値	目標値
1	造林事業費 【森林整備課】	414,425	四国中央市ほか17市町における間伐及び森林作業道整備等	森林整備実施面積 (国内示増により、当初目標値の2,000haから1,138ha増を目指す)	1,500ha (R3年度)	3,138ha (R5年度)
2	林道整備事業費 【林業政策課】	138,154	法皇線ほか3路線における林道整備	路網の整備延長 (国内示増により、当初目標値の4.9kmから0.2km増を目指す)	2562.2km (R4年度)	2567.3km (R5年度)

# **個別事業説明書【PR版】**

**土 木 部**

# 1 防災・減災対策等の推進事業

国内示を受けて、道路、河川、港湾海岸、砂防施設及び街路等の整備を行うなど防災・減災対策を追加実施し、県民の安全・安心を確保する。

お問い合わせ先  
 土木部道路都市局 道路建設課 (089-912-2710)  
 道路維持課 (089-912-2720)  
 都市整備課 (089-912-2745)  
 土木部河川港湾局 河川課 (089-912-2670)  
 港湾海岸課 (089-912-2690)  
 砂防課 (089-912-2700)

事業イメージ KPI 右表のとおり

【大洲・八幡浜自動車道整備】



【河川改修】



大規模災害に備えた防災・減災対策の推進  
 県民の安全・安心の確保

【港湾施設耐震補強対策】



【砂防堰堤工】



## 事業概要

	予算事項名	予算額(千円)	事業の内容	KPI	現状値	目標値
1	道路改築事業費 【道路建設課】	1,286,918	交通の安全確保と円滑化等を図るため、現道の拡幅やバイパス等の整備を行う。	生活圏ネットワーク道路の改良率 (0.2%/年 増を目指す)	89.9% (~R4年度累計)	90.8% (~R8年度累計)
2	地域高規格道路大洲・八幡浜自動車道整備事業費 【道路建設課】	44,210	大洲・八幡浜自動車道の整備を推進する。	大洲・八幡浜自動車道の整備率 (R4事業量水準をベースに着実に完成を目指す)	53% (~R4年度累計)	63% (~R8年度累計)
3	橋りょう補修事業費 【道路維持課】	1,091,838	橋りょうの耐震補強工事や橋りょうの寿命延長修繕計画に基づく修繕を行う。	早期措置段階(Ⅲ)橋梁の修繕完了率 (次回点検までの修繕完了を目指す)	65.6% (~R4年度累計)	100.0% (~R8年度累計)
4	災害防除事業費 【道路維持課】	518,564	道路路面等の防災・保全対策工事を行う。	道路路面の要対策箇所における対策完了率 (0.3%/年 増を目指す)	60.2% (~R4年度累計)	61.6% (~R8年度累計)
5	交通安全施設等整備事業費 【道路維持課】	142,501	令和3年度通学路合同点検要対策箇所等において、歩道等整備を行う。	市街地における県管理道路歩道等整備率 (0.2%以上/年 増を目指す)	75.2% (~R4年度累計)	76.3% (~R8年度累計)
6	堰堤改良費 【河川課】	100,170	玉川ダムにおける緊急時の万全な体制確保のため、監視設備の改良を行う。	ダム施設稼働率(法定点検対象施設全ての正常稼働を目指す)	100% (R4年度)	100% (R5年度)
7	河川改修費 【河川課】	768,421	県管理区間内の一級河川又は二級河川において改良工事を行う。	計画延長に対する事業実施率 (0.3%以上/年 増を目指す)	0.2% (R4年度)	0.3% (R5年度)
8	海岸保全施設整備事業費 【港湾海岸課】	215,787	津波・高潮等対策のため、海岸保全施設の整備、補修等を実施する。	海岸保全基本計画に基づく重点整備海岸の整備率 (R8年度末までに7%増を目指す)	14% (H27~R4年度累計)	21% (H27~R8年度累計)
9	港湾整備事業費 【港湾海岸課】	2,319,778	港湾機能の向上を図るため、港湾施設の整備、補修を行う。	要対策箇所となっている港湾施設の割合 (R8年度末までに2.2%減を目指す)	8.4% (R4年度)	6.2% (R8年度)
10	通常砂防事業費 【砂防課】	1,060,735	緊急度が高く、かつ重要度の高い土石流危険渓流の整備促進を図る。	本事業によって保全される人家戸数 (R8年度末までに336戸増を目指す)	2,641戸 (H25~R4年度累計)	2,977戸 (H25~R8年度累計)
11	地すべり対策事業費 【砂防課】	60,905	地すべりにより人家、公共施設に被害を及ぼす恐れがある箇所において対策工事を実施する。	本事業によって保全される人家戸数 (R8年度末までに1,186戸増を目指す)	1,343戸 (H25~R4年度累計)	2,529戸 (H25~R8年度累計)
12	急傾斜地崩壊対策事業費 【砂防課】	502,894	急傾斜地の崩壊による災害により被害が発生する恐れの高い箇所において対策工事を実施する。	本事業によって保全される人家戸数 (R8年度末までに754戸増を目指す)	1,708戸 (H25~R4年度累計)	2,462戸 (H25~R8年度累計)
13	都市計画街路事業費 【都市整備課】	528,751	都市計画道路において、公共交通の支援等の観点から効果的・効率的な箇所を選定し整備を行う。	都市計画街路の改良率 (0.7%/年 増を目指す)	67.8% (~R4年度累計)	70.8% (~R8年度累計)

# **個別事業説明書【PR版】**

**教育委員会**





# 1 県立学校振興計画推進事業費

令和5年度6月補正予算(案)  
 予算額 33,271千円

本年3月に策定した県立学校振興計画の具体化に向け、「地域に愛され、誇れる学校づくり」を着実に推進するため、統合後の学校の在り方を検討するとともに、多彩で魅力的な選択肢の提供を実現するなど、振興計画の3本柱の実現に向けた取組を実施する。

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局指導部  
 高校教育課  
 (089-912-2950)

**事業イメージ** **KPI** 振興計画の実現に向けた取組に対して有意義であると  
 感じている生徒の割合 **現状値** -  
 (前期計画終期のR9年度に90%を目指す) **目標値** 90% (R9年度)

- 振興計画の3本柱
- これから高校進学する生徒に**多彩で魅力的な選択肢を提供**
  - 職業・学科横断的学習の展開**
  - 進学指導の充実**



○県立学校振興計画の確実な実施に向けて **“生徒にとってよりよい教育環境の実現”**

<b>適正な学校配置</b> 各地域に一定規模以上の 県立学校を設置 学校数：55校→45校	×	<b>魅力ある学校づくり</b> ◇職業系学科の魅力化 ◇普通系学科の魅力化 ◇進学指導の強化 ◇総合学科の拡充 ◇中等教育学校の魅力化 ◇定時制・通信制課程の改編
---	---	---

○前期計画において新しく設置する学校(新学科・コース等を含む) ※下線は統合してできる学校

地区	新しい学校	年度	地区	新しい学校	年度
四国中央	三島	R 7	大洲・喜多	<u>大洲</u>	R 8
新居浜	新居浜東	R 7	八西 西予	<u>八幡浜(仮称)</u> 宇和	R 8 R 8
西条	<u>周桑(仮称)</u>	R 8	宇和島 南宇和	<u>宇和島東</u> <u>宇和島南(仮称)</u> <u>北宇和</u>	R 7
	<u>西条総合科学(仮称)</u>	R 8			R 9
今治 越智	今治西	R 8			R 7
	<u>しまなみ海洋(仮称)</u>	R 8			
	今治東中等	R 8			
松山 伊予 上浮穴	松山南砥部	R 7	<b>計画実施に向けて</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 準備委員会の設置</li> <li>● 振興計画の3本柱の実現</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           募集停止となった学校をバックアップするとともに、新しい魅力ある学校づくりを実施         </div>		
	東温	R 8			
	伊予	R 8			
	松山西中等	R 8			
	<u>愛媛風早(仮称)【定通】</u>	R 8			
	<u>松山南【定】</u>	R 8			
松山工業【定】	R 8				

## 事業概要

- 1 県立学校振興計画推進に向けた取組 15,754千円**
- 振興計画の実施のため、統合等を検討している県立高校等のまとまりごとに設置した準備委員会において、新校及び新学科・コース等の**実務的な部分を地域とともに具体化**  
 ≪準備委員会≫  
 教員、市町(教委)関係者、地域関係者等で構成  
 ≪検討内容≫  
学校コンセプトの決定、教育課程の研究、校名や制服の検討、生徒募集活動等

- 2 振興計画の3本柱の実現に向けた取組 17,517千円**
- 多彩で魅力的な選択肢の提供(10,110千円)**  
 地域や大学などの有識者の協力を得ながら、実施を検討している**新学科・コース等のカリキュラム**を研究し、**プレ授業**等を実施  
 ≪新学科等：国際・情報・スポーツ・教員養成・社会共創・マルビジネス・島の農業等≫  
 (例) 大三島分校において、「島の農業」分野の研究を行い、**プレ授業**を実施
  - 職業・学科横断的学習の展開(3,536千円)**  
 統合を予定している異なる職業学科が設置されている学校のまとまりにおいて、**各学科の特色を生かした教材**を研究し、**学習モデル**を構築  
 (例) 工業科において、農業科の生徒がスマート農業のためにドローンなどの機械操作を学習
  - 進学指導の充実(3,871千円)**  
**どの学校からでも第一志望の進路を実現できる進学指導**を研究するため、大学教授や予備校講師、地域の有識者等を招聘し、**学習会や講演会、体験活動**などを実施



## 2 県立学校振興計画校舎等整備事業費

令和5年度6月補正予算(案)  
 予算額 107,845千円

本年3月に策定した県立学校振興計画に基づき、新たに設置される学科・コース等に対応できるよう、計画の実現に向けて、必要な施設・設備の整備を行う。

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局指導部  
 高校教育課  
 (089-912-2950)

事業イメージ		KPI	整備進捗率	現状値	-				
				目標値	100% (R10年度)				
○ 県立学校振興計画 施設整備一覧		再編・統合後	設計	工事・設備					
区分	学校名	施設名	整備内容	R5	R6	R7	R8	R9以降	
新設	西条 総合科学*	新館	・統合による学級増及び新学科に対応する校舎を新築 ・統合・新設される学科・コースに必要な設備						
	八幡浜*	本館(仮)	・老朽化が著しい本館を改築 ・3校統合による機能集約						~R10
改修等	三島	第1教棟	・学科横断型学習教室を整備						
	松山南 砥部分校	特別教棟	・サテライトオフィスを整備(砥部町が実施)						
	宇和島東	本館	・学科横断型学習教室を整備						
	東温	第3教棟	・介護実習室を整備 ・介護実習設備を整備						
	伊予	普通教棟 本館	・学科横断型学習教室、情報教室、レッスン室を整備 ・情報及び芸術関連設備等を整備						
	大洲	第3教棟 農業科教棟(仮)	・学科横断型学習教室、農業実習教室を整備						
	八幡浜*	第2教棟 実習教棟(仮)	・学科横断型学習教室、工業実習教室を整備						
	宇和	本館	・情報教室を整備 ・情報関連設備を整備						
	愛媛風早*	第1教棟	・定時・通信制に対応する教室を整備 ・遠隔授業配信センターを整備						
	松山南	本館	・統合・新設される商業科(定時制)に必要な教室を整備 ・商業科関連設備を整備						
	周桑*	第1教棟(仮)	・学科横断型学習教室、情報教室を整備 ・情報関連設備等を整備						
	西条 総合科学*	特別教棟(仮)	・農業実習教室を整備						
	しまなみ 海洋*	本館(仮)	・統合・新設される学科・コースに必要な教室を整備 ・島の農業・マリビジネスコースに必要な設備を整備						
	宇和島南*	第3教棟(仮) 特別教棟(仮)	・学科横断型学習教室、情報教室、水産実習教室を整備 ・情報及び水産実習設備等を整備						
	解体 撤去	川之石 外	解体・撤去	・キャンパス校において使用しなくなる老朽施設を解体・撤去					

事業概要
○ 県立学校振興計画に伴う施設整備 107,845千円
<b>【新築】</b>
1 西条総合科学高校(新館)〔設計〕65,572千円
・学校統合に伴う学級数の増加により不足する普通教室
・総合学科(新設)及び家庭科(統合)に必要な実習教室等
[建築場所] 現東予高校敷地内
<b>【改修等】</b>
2 情報系教室の整備〔設計〕8,250千円
三島(第1教棟)、伊予(普通教棟・本館)、大洲(第3教棟)
八幡浜(第2教棟)、宇和(本館)、宇和島東(本館)
3 職業系教室の整備〔設計〕750千円
東温(第3教棟)
4 愛媛風早高校(第1教棟)〔設計・設備〕16,504千円
・定時・通信制に対応する教室及び遠隔授業配信センターの整備〔設計〕
・遠隔授業の実践研究を行うための設備整備
5 松山南高校(本館)〔設計〕16,769千円
・統合される商業科(定時制)に必要な教室の整備

\*の学校名は仮称